

この紙面に「2」がいくつある？

今日は、2022年2月22日。日付に2が6つ並ぶ。7つすべてが2になるには、あと200年かかる。18年後の令和22年にしても、2は5つしか並ばない。特別と言えば特別と言えるかもしれない。だから2月22日に第22号を発行することにする。

平野歩夢は「挑戦」の金メダル

以前この紙面で取り上げた平野歩夢選手の金メダルは、ご存じだろう。応援していただけに、私も嬉しい。

8月の東京オリンピックでスケートボードに挑戦して、約半年。冬季オリンピックではスノーボードハーフパイプで2大会連続の銀メダルの彼だが、あえて夏季大会への挑戦という厳しい道を選んだのは、「強くなるために挑戦して、負けて強くなるということだろう」と、父・英功さんは分析していたようだ。東京五輪のスケートボードでは予選で敗退している。

今回の試合後の彼のインスタグラムには、「小さい頃の夢が1つ叶いました。年齢とともに幼い頃の夢を追い続けることの大変さを痛感しながら、自分の限界に挑戦し、その先の自分を信じて、諦めずやってきて良かったです。」と書き込んだ。金メダルを取れたことへの誇りと試合を終えた安堵とこれまでの自身の努力への敬意などが感じられる。彼の小学校の卒業文集の「将来の夢」には、「スノーボードとスケボーで世界一になる」と記されているそうだ。

(参考：読売新聞オンライン <https://www.yomiuri.co.jp/olympic/2022/20220211-OYT1T50212/>)

元NBAのスーパースター、故コービー・ブライアントは、かつて

「I'm reflective only in the sense that I learn to move forward. I reflect with a purpose.

(わたしは前進する方法を学ぶためだけに過去を振り返る。目的を持って自分と向き合う。)」と述べ、自らの経験を糧とし、自分を鼓舞し、目標達成に向けて人知れず努力を重ねた結果、スーパースターと呼ばれるまでになった。(残念ながら2020年にヘリコプターの事故で亡くなってしまった。)

同様に、平野歩夢選手は、夏季大会のスケートボードに挑戦し、その経験をもとにこれまで誰もやったことの無い技に果敢に挑戦し、これまでのスノーボードハーフパイプのレジェンド、ホワイト選手を抑え、金メダルを手にした。次の目標は、スケボーで世界一になることなのだろうか。

北京冬季オリンピックは過去最多のメダル獲得で閉幕し、パラリンピックが3月4日に開幕する。

卒業式は2月26日

本校では、コロナの影響で2年生の学年閉鎖、1年生の学級閉鎖を実施し、感染拡大の防止に当たってきた。その結果、一時の拡大傾向は沈静化している。ただ、兵庫県に蔓延防止措置が延長適用されていることもあり、密集は避けるという方針のもと、体育館での式典をライブ映像で配信し、1・2年生の在校生の皆さんには各教室において、映像と音声のみで参列してもらうこととした。最後の最後まで制限がかかってしまい、3年生には気の毒なことだ。その分、各部活動などでしっかりと送ってやってほしい。もちろん、感染拡大防止には気を付けて・・・、顧問の先生とよく相談してほしい。

「2」の数の正解は次号にて

We keep on trying. 挨拶日本一の高校・遅刻ゼロの高校を目指して 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩